

<b>塩素酸塩粒剤</b> <b>クサトール FP 粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農 <b>原体メーカー：</b> 保土谷
<b>成分：</b> 塩素酸ナトリウム〔無機系〕……………50.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒 <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 非選択性の接触型除草剤で、雑草の茎葉処理により強力な枯殺力を示す。
- 特に雑草が発生後の3～4月から呼吸作用の旺盛な9月頃までの処理は効果が高い。
- 開こん地、草地改良地、林地、運動場などの非農耕地の除草剤としても好適である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 雑かん木、ススキ、一年生及び多年生雑草に使用する場合、対象雑草木が萌芽し、新葉が展葉を始めた時期に散布する。また、ススキを抑制、枯殺するには株元やその周辺にスポット散布する。
- 地ごしらえの場合は、手まき、手動又は風速の大きい動力散布機で地ごしらえ地全面にまき残しないように散布する。
- 下刈りの場合は、風速を小さくした動力散布機で茎葉又は土壌表面に均一に散布する。
- 空中散布で使用する場合、ヘリコプター用微粒剤散布装置によって散布する。
- 竹類の節間投入処理の場合は、ドリル等で穴を開け、ろうと等を用いて粒剤のまま投入し、投入後は穴をコルク栓等で塞ぐ。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 降雨時又は降雨の予想される時の散布はさける。
- 下刈りの場合、降雨時又は降雨後など、植栽木の茎葉が濡れている時の散布は薬害を生じるおそれがあるので、植栽木をさけて散布する。

- 開こん地、林地の地ごしらえ又は、休耕田に使用した場合、散布後3カ月以内は樹木の植付、は種などはしない。

- 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしない。

- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入又は飛散するおそれのある場所等では使用しない。また樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさける。

- 水稲刈取り跡に使用する場合には次のことに注意する。

- 一年生雑草及び多年生イネ科雑草防除に使用する場合は、水稲刈取後、秋期雑草生育期に使用する。

- オモダカに使用する場合は、水稲刈取後なるべく早く使用する。

- 本剤は排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、全面に均一に散布する。

- 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害を生じることのないよう十分注意する。

- 適用外作物（各種作物、樹木）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 従来品に比べ難燃性に製剤してあるが、散布前後には散布機をよく清掃して油や汚れを拭き取る。

- 本剤の付着した作業衣は、火気に対して燃えやすくなっているので、作業後水洗いする。

- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。

- 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので、保管に注意し、また散布直後の散布地域への家畜の放飼は行わない。

- 医薬用外劇物。取扱いは十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 散布時本剤が身体や作業衣に付着の少ないよう風向等に注意し、散布したところを歩かない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 空中散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



## 【適用と使用法】

作物名	適用場所・使用目的	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
開墾後に栽培する農作物等	開墾地	一年生及び多年生雑草	雑草生育期（積雪時及び土壤凍結時を除く）	15～25 kg	—	全面均一散布 空中散布	—
ま っ つかまつえぞまつとどまつ	地ごしらえ	雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期（積雪時及び土壤凍結時を除く）	10～20 kg	2 回以内	全面均一散布 空中散布 全面均一散布 空中散布	3 回以内
	下刈り						
	地ごしらえ又は下刈り	ススキ	雑草生育期（草丈20 cm 以下）	30g / 株径20cm 60g / 株径30cm 85g / 株径40cm		株処理	
ぶ な かんば	地ごしらえ	一年生及び多年生雑草 雑かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期（積雪時及び土壤凍結時を除く）	15～25 kg	2 回以内	全面均一散布 空中散布	3 回以内 （全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布、全面均一散布、空中散布及び株処理は合計1回以内）
	下刈り			10～20 kg		全面均一散布 空中散布	
す ぎ の ぎ	地ごしらえ	ススキ	雑草生育期（草丈20 cm 以下）	15～25 kg		全面均一散布 空中散布	
	下刈り			10～20 kg		全面均一散布 空中散布	
	地ごしらえ又は下刈り	ススキ	雑草生育期（草丈20 cm 以下）	30g / 株径20cm 60g / 株径30cm 85g / 株径40cm	1 回	株処理	
	林地、放置竹林	竹類	生育期	45～60 kg		全面土壌散布	
樹 木 等	公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生及び多年生雑草	雑草生育初期～中期	15～25 kg	3 回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3 回以内（全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布は1回以内）
		竹類	生育期	45～60 kg	1 回	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	

作物名	適用場所	適用雑草木名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
樹木類	林地, 放置竹林	竹類	生育期	10～20g/ 本	—	節間に穴を開け そのまま投入	—

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
水稻 (水稻刈取跡)	水稻刈取跡	一年生雑草 多年生イネ科雑草	水稻刈取後 (秋期雑草 生育期)	20 ～ 25 kg	—	水稻刈取 跡に全面 土壌散布	—
		オモダカ		30 ～ 40 kg			
水稻 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	水稻刈取後	20 ～ 40 kg		全面土壌 散布	
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期 (草丈 50 cm 以下)	30 ～ 40 kg			